

平成 26 年度 日本獣医がん学会 理事会・評議会合同会議 議事録
第 11 回 日本獣医がん学会

日時：2014 年 7 月 6 日(日) 12:30-13:30

場所：東京コンベンションホール 中会議室 1

議長：石田卓夫会長

出席者：資料 3：名簿参照（理事：21 名、評議員：45 名）

議題：

【報告事項】

1. 事業報告として下記を杉山副会長が報告した。

1) 会員数（2014 年 3 月 31 日現在）

正会員：2133 名 準会員：17 名 名誉会員：1 名 会員合計：2151 名 賛助会員：13 社

2) 第 9・10 回学会報告

第 9 回学会（於麻布大学）

正会員：519 名 準会員：6 名 非会員：33 名 学生：45 名

講師他：57 名 関係者：36 名 参加者合計：696 名 ハンズスタッフ除く

第 10 回学会（於大阪・ホテルニューオータニ大阪）

正会員：416 名 準会員：6 名 非会員：35 名 学生：2 名

講師他：60 名 関係者：27 名 参加者合計：546 名 ハンズスタッフ除く

2. 各委員会・部会報告

<学会運営に関する委員会>

1) 学会企画委員会：古川委員長

1-1. 学会企画の進捗

第 12 回学会（大阪）メインテーマ：副腎腫瘍の演者内諾済み、小シンポジウム 目・眼けん腫瘍の演者内諾中。卒後教育講演も 4 題設けている。

第 13 回学会（東京）メインテーマ：悪性黒色腫の講師選定し、小シンポジウム、卒後教育講演など随時、内諾を進めていく。

1-2. 日本獣医内科学アカデミー 本会からの 2015 年提供協賛企画は「教育講演：臨床病理 講師 小笠原聖悟先生」とした。

2) 学会雑誌編集委員会：藤田委員長

2-1. 学会雑誌 Vol.5 No.1 が 7 月 2 日に J-Stage に掲載された。

2-2. 2014 年内にもう一号発行を予定。現在、論文の査読が 3 本進んでいる。

2-3. メール会議にて投稿規程の変更、および HP に新規で FAQ を追加し、論文の投稿を促す意味も含めて、論文投稿から掲載までの流れが把握できるように検討した。投稿規程の一部変更（資料 2）はこの後、審議頂きたい。

3) 認定医認定委員会：藤田委員長に代わり杉山副会長が報告した。

3-1. 7 月学会時に行っていた認定医試験 2 種、1 種一次試験は、1 種二次と合同で 10 月 19 日に実施する。

会場は麻布大学および日本獣医生命科学大学等を検討したが、日程が合わず、会議室を借りて新宿・ベルナール（費用約70万円）にて開催することをメール会議にて検討した。
3-2. 2015年度の試験は大学と事前に協議をして使用できるように検討し、受験者や関係者から会場の利便性を求める声もあるため試験終了後に意見を集約して会場検討する。

4) 専門医制度実行委員会：南委員長
会議開催なし。

5) JONCOL 編集委員会：井上委員長

5-1. JONCOL No.18 2014年9月25日発刊予定。

5-2. JONCOL No.19 第11回（東京）学会のプログラムを基に企画を検討中。2015年1月発刊予定。

6) 学会実行委員会：福山委員長

6-1. 参加人数が700名を超え、会場の利便性が良く、参加者が多くなった分、会場運営や企画委員会と連携してより快適な会場づくりを考えて行くようにする。

6-2. 第10回（大阪）学会の際に問題となったPCの接続問題は、事務局と運営側と協力し、改善を図ったところ大きな混乱はなかった。

杉山副会長：不備やお気付きの点があったら執行部もしくは実行委員長に意見をお願いしたい。

7) WVCS 準備委員会：石田委員長

7-1. 2020年開催までは数名を本会からVCSに派遣する。2014年10月9、10、11日（於セントルイス）はVCSの事務局とのコネクションを持つため、JVCS学会事務担当者および通訳者が出向く予定。

7-2. 東京観光財団へ世界大会東京開催の誘致・開催支援の助成金申請を行った。

7-3. 世界がん学会2020年開催はほぼ東京に決定と考えられるが、まだ正式にVCSより2020年世界がん学会開催の正式決定文書を受け取っていないため、これから正式な決定と決まった際には会員への告知を行う。

<学術部会>

1) 外科部会：浅野部会長欠席のため、代理・高木哲部会員

1-1. 第12回学会・外科部会のシンポジウム枠は、テーマを肛門腺癌とした。シリーズで続いている教育講演は「縫合材料」を扱う。

1-2. 第13回学会 外科部会のシンポジウム枠は、テーマを再建外科とした。教育講演は「消化管の取り扱い、手術手技について」を扱う。

2) 放射線療法部会：圓尾部会長

2-1. 第13回学会では、「手術の放射線治療の栄養療法」と題し、2時間30分で総論に医師を招聘し、各論では各施設の状況を報告する。開催の時間等については、医師の懇親会出席をお願いする都合上、企画委員会と協議して時間を決定する。

3) 内科部会：細谷部会長

3-1. 本学会（第11回）で内科部会企画のプログラムが開催された。

3-2. 第15回学会の具体的な企画検討を行った。第11回企画の反応をみて、再度顕微鏡セッションを開催するか、他案にするかを検討している。第15回学会の教育講演はシリーズもので骨髄検査・血液腫瘍のトピックを取り上げようと検討している。

4) 臨床研究部会：皆上部会長

4-1. 第12回学会「日本から世界へ腫瘍に関する臨床研究の紹介」として、各大学に1題ずつ論文化された臨床研究報告をして頂く。一部の方には内諾を得ており、引き続き企画をまとめて企画委員会へ提案する。

5) 国際情報部会：辻本部会長

5-1. 海外の情報があつた場合は随時報告をして会員への周知を図っているが、2020年世界がん学会招致のための全面的な努力をし、今回は事務局も同行するため、理事・評議員の皆さまにもぜひVCSへの参加をお願いしたい。

6) 病理部会：賀川部会長

6-1. 事前にメール会議を行い、第12回学会の卒後教育セミナーをシリーズもので継続することを考え、臨床の先生からご要望のあつた「病理解剖のやり方」を企画している。

3. その他

1) 渉外・広報担当：武信理事

1-1. 他学会への後援（JBVP）を承諾した。

1-2. 公式Facebookを立ち上げた。

2) その他

2-1. 一般社団法人化

前執行部からの申し送り事項であつた。会計事務所にアドバイスを受け、定款の作成や法人組織作り、法人会計や納税等、それに掛かる様々な経費に関する事項を整理している。

【審議事項】

1) 2013年度日本獣医がん学会収支決算報告：杉山副会長：資料1：2013年度収支決算過去の報告を比較できるよう同時掲載した。収入では会員増の年会費が増え、学会に関しては会場費600万円・学会の運営を外部委託したため支出が増大した。次年度繰越金は昨年度に比較すると600万円ほど増加した。

2) 2013年度日本獣医がん学会：会計監査報告と承認：溝呂木会計監査

2-1. 会計監査が報告された。 → 承認された。

3) 2014年度日本獣医がん学会予算案の承認（資料1：2014年度予算案）

3-1. 収入は年会費が会員増の増収を見込み、支出では学会開催のための業務委託費用・会場費、法人化検討と事務に関する費用（約130万円）を見込んでいる。また、WVCS招致のために事務局担当者およびサポート1名の計2名分の渡航費用が嵩んでいる。WVCSに関しては東京観光財団に助成の申請を行っているが、全て終了後に半額を助成される可能性がある後日精算のため、それまでは学会が負担することとなる。58,649,021円の繰り越しを予定している。

<質疑>

信田理事：予算案の収入と支出の各総計に相違があるが20万円のズレは何故か？

杉山副会長：法人化およびWVCS招致費用を追加した際に、支出小計に加えるのを失念したため、正しい支出合計は48,440,000円となり、次年度繰越金は56,749,021円と訂正し、総計は収入の部および支出の部共に総計は資料のまま10,514,021円とする。

→承認された。（資料1：2014年度予算案は訂正済み）

4) その他

4-1.

石田会長：学会開催に際して経費が膨らんでいるので2日間の講義を考えても参加費の値上げはどこの部署も考えていないのか？

杉山副会長：開催費が嵩んでも参加費の値上げをせずに、その他の経費を減らし、収入を増やせるように努力をしているところで、どの部署でもまだ値上げの検討はされていない。

石田会長：他学会と比較しても参加費が安いと思えるので、考慮しても良いのではないかとと思う。

杉山副会長：余剰金などのことも考慮しながら今後検討していく。

【その他】

1) 学会の法人化に関して：石田会長

【報告事項】その他にて発言済み。

2) その他

2-1. 学会雑誌編集委員会 藤田委員長（資料2）

資料2に記載した投稿規程の変更について審議頂きたい。

変更の内容は、従来の規程では「筆頭著者が本会の会員とする」であることにしていたが、投稿を促す意味でも学生が執筆することも考慮して、コレスポンディングオーサーが会員であれば良いとの検討を重ねた。

補足として、院長が会員で、勤務医が会員ではない場合なども想定される。

また、執筆にあたり「著者負担とする」とある規程も「著者または連絡責任者」と変更を希望する。

→承認された。

以上。

| 日本獣医がん学会 2013年度収支決算報告及び2014年度予算案 | | 2013年度補正予算案は収支決算の項目に合わせるため一部項目入れ替え | | | | | | | | |
|----------------------------------|------------------|------------------------------------|---------------|-------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-----------------------------|--------------|
| 収入の部 | 2014年度予算案 | | 2013年度収支決算 | | 2013年度補正予算案 | | 2012年度収支決算 | | 明細 | 備考 |
| | 金額(円) | 明細金額(円) | 金額(円) | 明細金額(円) | 金額(円) | 明細金額(円) | 金額(円) | 明細金額(円) | | |
| 当期年会費 | ¥22,000,000 | | ¥21,570,000 | | ¥21,000,000 | | ¥20,690,000 | | 正会員年会費 準会員年会費 賛助会員年会費 | |
| 認定委員会 | ¥3,700,000 | ¥3,500,000 | ¥3,795,500 | ¥3,575,000 | ¥3,500,000 | | ¥3,131,500 | ¥2,025,000 | I種受験料・登録料 | |
| | | | | | | | | ¥270,000 | I種一次受験料 | |
| | | | | | | | | ¥420,000 | I種二次受験料・登録料 | |
| | | | | | | | | ¥145,000 | 来期受験料 | |
| | | ¥200,000 | | ¥220,500 | | | | ¥271,500 | 手帳(1500円/部) | |
| 学会 | ¥15,000,000 | ¥13,000,000 | ¥14,183,000 | ¥12,077,000 | ¥14,000,000 | | ¥13,256,000 | ¥11,403,000 | 第9・10回学会参加費 | |
| | | ¥1,500,000 | | ¥1,501,000 | | | | ¥1,730,000 | 展示・広告費 | |
| | | ¥100,000 | | ¥90,000 | | | | ¥102,000 | 要旨販売 | |
| | | ¥400,000 | | ¥515,000 | | | | ¥21,000 | 懇親会 | |
| その他 | ¥610,000 | ¥100,000 | ¥1,178,452 | ¥110,000 | ¥1,500,000 | | ¥385,441 | ¥230,000 | 当期以外年会費 | |
| | | ¥10,000 | | ¥11,032 | | | | ¥9,191 | 預金利息 | |
| | | ¥500,000 | | ¥1,057,420 | | | | ¥146,250 | 会員証・挿込・印税等(不明含) | |
| 小計 | ¥41,310,000 | | ¥40,726,952 | | ¥40,000,000 | | ¥37,462,941 | | | |
| 繰越金 | ¥63,879,021 | | ¥57,547,021 | | ¥57,547,021 | | ¥45,202,610 | | (前年度) | |
| 総計 | ¥105,189,021 | | ¥98,273,973 | | ¥97,547,021 | | ¥82,665,551 | | | (a) |
| 支出の部 | 金額(円) | 明細金額(円) | 金額(円) | 明細金額(円) | 金額(円) | 明細金額(円) | 金額(円) | 明細金額(円) | 明細 | 備考 |
| 事務人件費 | ¥3,500,000 | ¥3,500,000 | ¥2,821,454 | ¥2,821,454 | ¥4,000,000 | | ¥2,678,130 | ¥2,678,130 | 委託費(1300円/人) | |
| 荷造運賃発送費 | ¥1,000,000 | | ¥823,803 | | ¥730,000 | | ¥633,300 | | 宅配・切手・発送代 | |
| 会議交際費 | ¥200,000 | | ¥18,848 | | ¥200,000 | | ¥25,693 | | 会議費 | |
| 旅費交通費 | ¥500,000 | | ¥378,000 | | ¥300,000 | | ¥7,410 | | | |
| 通信費 | ¥300,000 | | ¥157,920 | | ¥420,000 | | ¥187,552 | | 電話・サーバー代等 | |
| 消耗品費 | ¥840,000 | | ¥469,765 | | ¥840,000 | | ¥106,569 | | 事務用品・雑品費・会員証資材 | |
| 備品 | ¥600,000 | | ¥230,430 | | ¥600,000 | | ¥458,004 | | パソコン、プリンタ、会計ソフト等 | |
| 手数料 | ¥600,000 | | ¥466,819 | | ¥470,000 | | | | 銀行および口座振替手数料 | 振込手数料&ワイドネット |
| 学会開催 | ¥26,000,000 | | ¥19,290,538 | | ¥22,000,000 | | ¥10,980,648 | | | |
| | 第11回東京コンベンションホール | ¥13,000,000 | 第9回学会麻布 | ¥6,169,415 | 第9回学会麻布 | | 第7回麻布 | ¥5,444,062 | | |
| | 第12回大阪ニューオータニ | ¥13,000,000 | 第10回大阪ニューオータニ | ¥13,121,123 | 第10回大阪ニューオータニ | | 第8回麻布 | ¥5,536,586 | | |
| 認定委員会 | ¥3,000,000 | | ¥1,874,470 | | ¥3,000,000 | | ¥2,540,448 | | 認定医関連一式 | |
| Joncol | ¥6,000,000 | | ¥5,460,000 | | ¥5,700,000 | | ¥4,955,000 | | JONCOL1号分(No.15) | 1部2500円 |
| 学会雑誌 | ¥2,500,000 | | ¥1,192,633 | | ¥2,500,000 | | ¥1,400,024 | | | 編集、編集経費 査読料等 |
| 運営費 | ¥1,000,000 | | ¥915,202 | | ¥930,000 | 印刷代及びシステム維持 | ¥819,000 | | | |
| 法人化検討費 | ¥1,300,000 | | | | | | | | | |
| WVCS招致費用 | ¥600,000 | | | | | | | | | |
| その他 | ¥500,000 | | ¥295,070 | | ¥2,530,000 | HP、JFVSSなど | ¥326,752 | | 廃品回収、名刺作成、VCS学会登録費等 | |
| 支出合計 | ¥48,440,000 | | ¥34,394,952 | | ¥44,220,000 | | ¥25,118,530 | | | (b) |
| 次年度繰越金 | ¥56,749,021 | | ¥63,879,021 | | ¥53,327,021 | | ¥57,547,021 | | | (a)-(b)=(c) |
| 総計 | ¥105,189,021 | | ¥98,273,973 | | ¥97,547,021 | | ¥82,665,551 | | | (a) |



投稿規程



1. 「日本獣医がん学会雑誌」の投稿論文は原則として獣医臨床腫瘍学に関する和文または英文論文で、未発表かつ公表予定のないものとし、獣医腫瘍学の臨床と研究の発展に寄与するための内容とする。
2. 原著、短報の投稿者の筆頭著者は本会の会員とする。ただし、依頼論文においてはこの限りではない。
3. 原稿の投稿は、原則としてメールにて行う。
4. 投稿された原稿は審査員で査読し、掲載の可否を決定する。原則として審査終了頃に掲載する。掲載されない論文は原則として本人に返還する。査読者は、3か月以内に査読すること。投稿者は3か月以内に修正論文を提出すること。
5. 原稿の区別は次の通りとする。
 - 1) 総説：内外の最新の研究または、獣医臨床腫瘍学に関する知識などを総合してまとめたもので、できるだけ解説的な内容の論文（依頼原稿）。刷り上がりは8頁以内、図表を含む。
 - 2) 原著および短報：原著では刷り上がり8頁以内、図表を含む。短報では刷り上がり6頁以内、図表を含む。
 - 3) 技術講座：獣医臨床腫瘍学の技術並びに知識について各論的な解説をした論文（依頼原稿）
 - 4) 会報、その他
6. 論文は以下の様式に従って作成する。図表類は本文とは別とし、表題と図表番号を記入し、本文中の挿入場所を指定すること。また原著の図表類の表題、説明、図表番号などは英語論文においては英文、その他については英文あるいは和文とする。
本文：投稿原稿はWord（またはテキスト）およびそのファイルをPDF化した2つのファイルを送付する。標準的なフォント(英文はTimes New Roman, Century, Helvetica, Symbolなど、和文はMS明朝、MSゴシックなど)を使用する。
A4判用紙に横書きとし、新かなづかい、当用漢字によってタイプ書きする。本文はダブルスペース（1ページ、24～26行、1行70字程度）でタイプし、上下左右に十分な余白をとる。改行は1文字あけて書き出す。

表：マイクロソフト社のExcelでの作製を推奨する。
図：図はTIFFファイルとする。印刷原稿の解像度として、雑誌掲載時のサイズ（横77mmか160mm）で、白黒は1200dpi、グレースケールとカラーは300dpiを必要とする。
7. 原稿の第1ページには投稿区分（原著、短報等）、和文表題、著者名、英文表題、英文著者名（英文原稿では順が逆になる）、**|**を記入する。
ついで、下半分に著者の所属機関および所在地（郵便番号を含む）を和文、英文で記入する。さらに連絡先として、**担当著者**名および所在地と、電話・ファックス番号、Eメールアドレスを明記する。
第2ページには英文Abstract（原著約200語、短報約100語）とKey word（英語）（原著、短報とも5語以内、ABC順で全て小文字）を記入する。
第3ページ以降は、原著では、「はじめに、材料と方法、成績、考察、参考文献」の順に記載する。
短報では参考文献を除いてこのように項目分けをしない。また英文原稿においては原著、短報ともに最後に和文要約（200字程度）を記載すること。総説、技術講座等ではこのような様式をとる必要はない。
8. 外国の人名、地名などはもとの綴りのままとする。
動植物名などの学名は片仮名で記載し、その学名はイタリックとして下線を引きこれを示すこと。
9. 略字を使用するときは、論文中にはじめて使用するときに完全な語を掲げ、そのあとに略字を括弧で括って提示する。
10. 数字は算用数字を用い、単位および略語は原則として下記の例に従う。
M, mM, μ M, N, %, m, cm, mm, μ m, nm, pm, cm², cm³, l, ml, μ l, kg, g, mg, μ g, ng,

改訂後、加筆↓

または連絡責任者

改訂後、加筆↓

共著者のEメールアドレス

改訂後、加筆↓

連絡責任者

pg, hr, min, sec, msec, rpm, Gy, cGyなどとし、特殊な単位を用いる場合は必ず簡単な説明を加えること。

改訂後、加筆↓

11. 引用文献は下記にしたがって記載する。

著者名はアルファベット順に配列し、論文中の引用箇所はその番号を[1]、[3-5,7]のように記載する。著者名は全員を記載する。なお、同一著者の複数の論文を引用する場合は年代の新しい順に記載する。

1) 雑誌の場合：「著者(年号)：表題、雑誌名、巻、始頁～終頁。」

例1. 佐々木伸雄, 周藤行則, 田原秀樹, 竹内 啓(1987)：高齢犬の肺癌症例に対するエンフルレン麻酔の一例。 獣医麻酔 18(2):7-10.

例2. Azar, I. and Ozemek, E. (1973)：The use of ketamine for abdominal tubaligation. Anesth. Analg. 52：39-42.

例3. Cohen, R.B. and Tilley, L.P. (佐々木伸雄訳)(1980)：麻酔下における不整脈。 Vet. Clin. North Am. (日本語版) 9(2)：11-20.

2) 単行本の場合：「著者(発行年)：単行本名、第何版、引用した部分の始頁～終頁、出版社、出版社の所在地。」

例1. 太中 弘(1971)：外科の救急。各科救急処置の実際 (太中 弘, 赤井知雄編), pp.97-217. 南山堂, 東京.

例2. Hall, L.W. (1971)：Veterinary Anesthesia and Analgesia, 7th ed., pp.201-202.. B. Tindall, London.

例3. Smithcors, J.F. (1971)：History of veterinary anesthesia. In：Textbook of Veterinary Anesthesia (Soma, L.R.ed.), pp.1-23. Williams & Wilkins, Baltimore.

3) 「日本獣医がん学会雑誌」への投稿論文は、図表を含む本文の内容について、紙媒体およびインターネット等の電子媒体を含め、いかなる形式の媒体からの無断引用・無断転載・無断改変はないこと。その事実には著者は全ての責任を持つこと。

数詞は時間や単位つきの場合は数字表記でよい。
名詞の数として書かれている場合は慣用的には1-9はスペルを書き、10以上は数字とする。

12. 著者校正は初稿のみとし、その際新たな追加変更は許されない。

校正刷りは受け取り後5日以内に校正して返信すること。

期限に遅れた場合は編集委員会の校正をもって校了とすることがある。

改訂後、加筆↓

においても掲載済み、あるいは掲載予定等はないこと、いかなる形式の媒体

13. また下記の内容は著者負担とする。

1) 本規定5の制限頁数を超過したとき

2) 別刷の印刷代

3) 編集委員会で必要と認めた場合の英文校閲料など

4) 論文の印刷に際して編集委員会が著者原因が製版に不相当と認めた場合のトレース代等

5) 引用・転載・改変等の確認に関する調査および許諾

改訂後、加筆↓

または連絡責任者

14. 本誌に掲載された論文の著作権は、日本獣医がん学会に属する。

改訂後、加筆↓

紙媒体および電子媒体等媒体形式を問わず、公開方法について、その権利を日本獣医がん学会に移譲されるものとする。

15. 原稿および投稿承諾書の送信、投稿に関する照会は下記宛てとする。

〒180-8602 東京都武蔵野市境南町1-7-1

日本獣医生命科学大学獣医放射線学教室内

日本獣医がん学会雑誌編集委員会 (委員長：藤田道郎)

E-mail：journal@jvcs.jp

16. 著者負担金(本規定13)は所定の口座に振り込むこととする。

お問合せ先

日本獣医がん学会事務局

E-mail：office@jvcs.jp

TEL：090-7848-2959

| 会員番号 | 氏名 | 出欠 | |
|------|--------|----|--|
| 0498 | 皆上 大吾 | ○ | |
| 0706 | 浅野 和之 | 欠席 | |
| 0695 | 浅葉 慎介 | ○ | |
| 0659 | 荒明 知道 | | |
| 1056 | 石川 剛司 | ○ | |
| 0002 | 石田 卓夫 | ○ | |
| 0398 | 石堂 真司 | ○ | |
| 0743 | 伊藤 哲郎 | ○ | |
| 0544 | 伊藤 夏樹 | ○ | |
| 0663 | 井上 明 | ○ | |
| 0904 | 今井 理衣 | ○ | |
| 0184 | 入江 充洋 | ○ | |
| 0748 | 岩崎 孝子 | ○ | |
| 0560 | 岩崎 隆 | | |
| 1236 | 宇賀 崇雄 | | |
| 0433 | 牛尾 宣夫 | ○ | |
| 0263 | 遠藤 美紀 | ○ | |
| 0376 | 岡嶋 俊男 | | |
| 0364 | 岡田 響 | ○ | |
| 0448 | 賀川 由美子 | ○ | |
| 0249 | 廉澤 剛 | ○ | |
| 2051 | 金井 詠一 | ○ | |
| 0257 | 川野 悦生 | 欠席 | |
| 0005 | 川村 裕子 | ○ | |
| 0264 | 菊池 優子 | ○ | |
| 0007 | 児玉 和仁 | ○ | |
| 0354 | 児玉 恵子 | ○ | |
| 0281 | 小林 哲也 | ○ | |

| 会員番号 | 氏名 | 出欠 | |
|------|--------|----|--|
| 0375 | 左近允 美紀 | ○ | |
| 0049 | 佐藤 敏彦 | ○ | |
| 0001 | 信田 卓男 | ○ | |
| 0009 | 下田 哲也 | ○ | |
| 0587 | 杉山 大樹 | ○ | |
| 0859 | 鈴木 学 | ○ | |
| 0963 | 高木 哲 | ○ | |
| 0239 | 高橋 朋子 | | |
| 0579 | 高平 篤志 | ○ | |
| 0580 | 高柳 信子 | ○ | |
| 0385 | 武田 晴央 | ○ | |
| 0783 | 武信 行紀 | ○ | |
| 0414 | 辻村 聖志 | 欠席 | |
| 0449 | 辻本 元 | ○ | |
| 1738 | 出浦 知也 | ○ | |
| 0666 | 寺澤 義朗 | ○ | |
| 0207 | 中尾 淳 | ○ | |
| 0100 | 中島 伸 | | |
| 0101 | 長田 雅昭 | ○ | |
| 0645 | 成田 剛 | ○ | |
| 0190 | 生川 幹洋 | ○ | |
| 0944 | 西戸 達郎 | | |
| 1361 | 野田 正志 | 欠席 | |
| 1009 | 野呂 和夫 | ○ | |
| 0759 | 橋本 砂輝 | ○ | |
| 0384 | 長谷川 真吾 | ○ | |
| 0525 | 早川 紀子 | ○ | |
| 0386 | 林 光児 | ○ | |

| 会員番号 | 氏名 | 出欠 | |
|------|--------|----|--|
| 1365 | 日高 勇一 | ○ | |
| 0966 | 樋野 裕則 | ○ | |
| 0524 | 福山 泰広 | ○ | |
| 0059 | 藤田 道郎 | ○ | |
| 0612 | 古川 敬之 | ○ | |
| 0328 | 古田 博也 | ○ | |
| 0584 | 保坂 創史 | ○ | |
| 1504 | 星野 有希 | ○ | |
| 1573 | 細谷 謙次 | ○ | |
| 0347 | 堀 英也 | ○ | |
| 0348 | 堀川 歴央 | ○ | |
| 0031 | 本間 尚巳 | ○ | |
| 0974 | 松崎 智彦 | | |
| 0176 | 松山 史子 | ○ | |
| 0042 | 丸尾 幸嗣 | ○ | |
| 0256 | 圓尾 拓也 | ○ | |
| 0097 | 水上 浩一 | ○ | |
| 0361 | 溝呂木 啓之 | ○ | |
| 0015 | 南 毅生 | | |
| 0016 | 三宅 龍二 | ○ | |
| 0874 | 村田 樹五 | ○ | |
| 0020 | 山田 徹 | ○ | |
| 0602 | 林宝 謙治 | ○ | |